

平成28年7月

平成28年	4月	～	6月期	実績
平成28年	7月	～	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

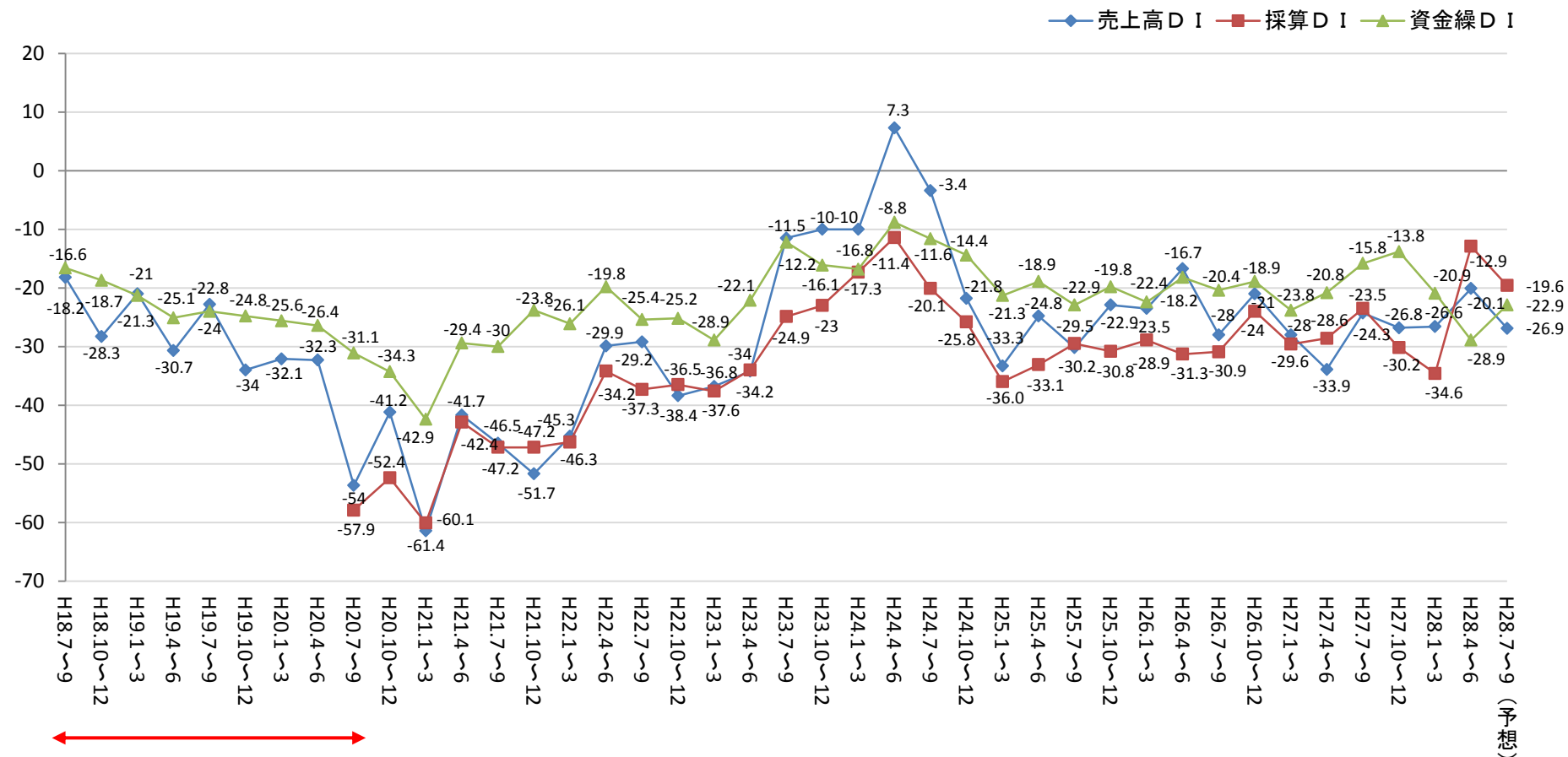
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成26年		平成27年		平成28年		(見通し) 7~9月		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			
製 造 業	 薄 曇	 曇	 曇	 雨	 薄 曇	 曇	 曇	 曇	 曇
建 設 業	 薄 曇	 薄 曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇
小 売 業	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

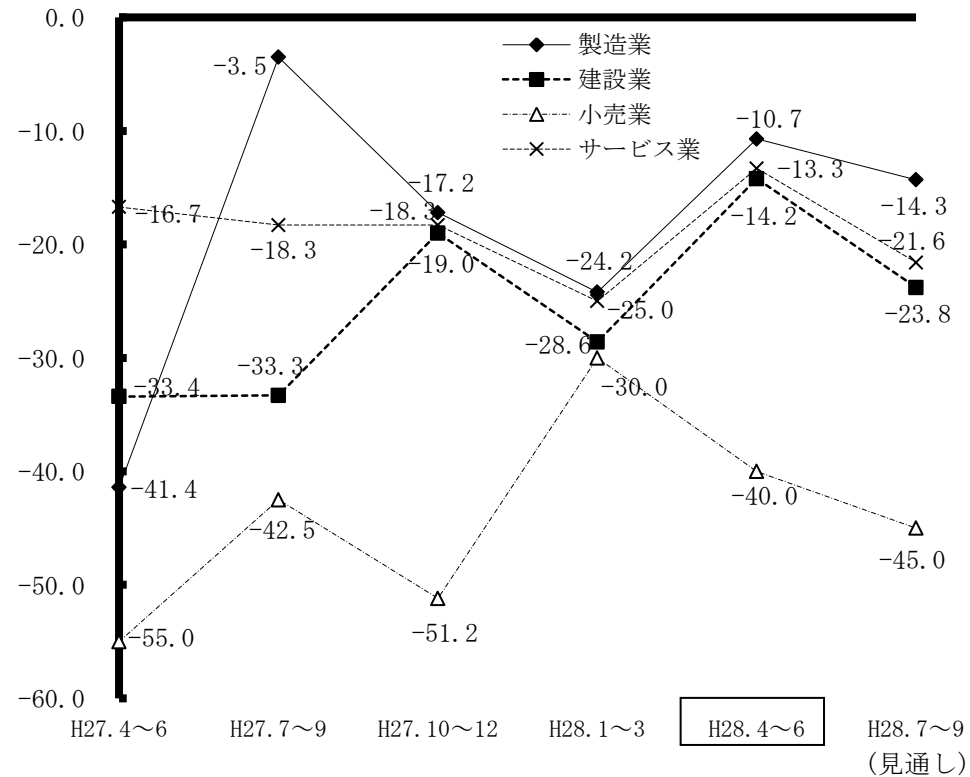
売上高

製造業、サービス業、建設業が増加

今期は、製造業が13.5ポイント上昇、建設業が14.4ポイント上昇、サービス業が11.7ポイント上昇となり、製造業、サービス業、建設業の3業種で増加となりました。

他方、前期大幅に上昇した小売業が10.0ポイント低下して△40.0まで減少しています。

来期は、製造業、建設業、小売業、サービス業において低下の見通しとなっており、全業種において減少が見込まれます。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

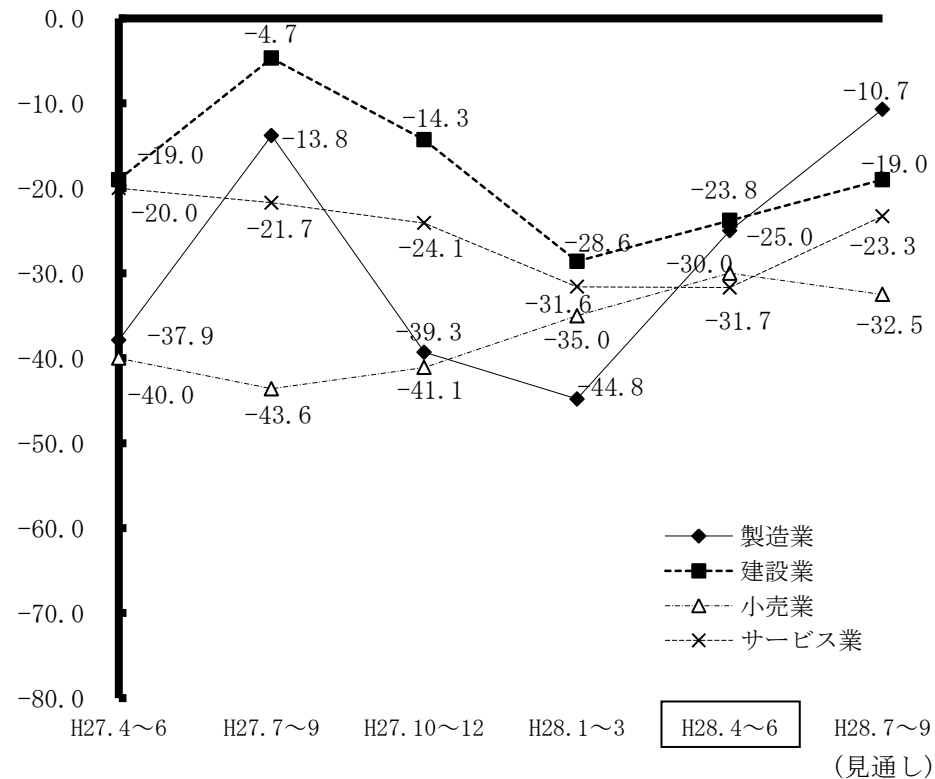
採算

製造業、建設業、小売業が好転

今期は、製造業が19.8ポイント上昇して△25.0、建設業が4.8ポイント上昇して△23.8、小売業が5.0ポイント上昇して30.0まで回復しました。

サービス業では、前期とほぼ横ばいの△31.7となりました。

来期は、小売業において小幅な低下の見通しですが、製造業、建設業、サービス業においては好転が見込まれています。



※採算は各業種とも経常利益

全産業の推移

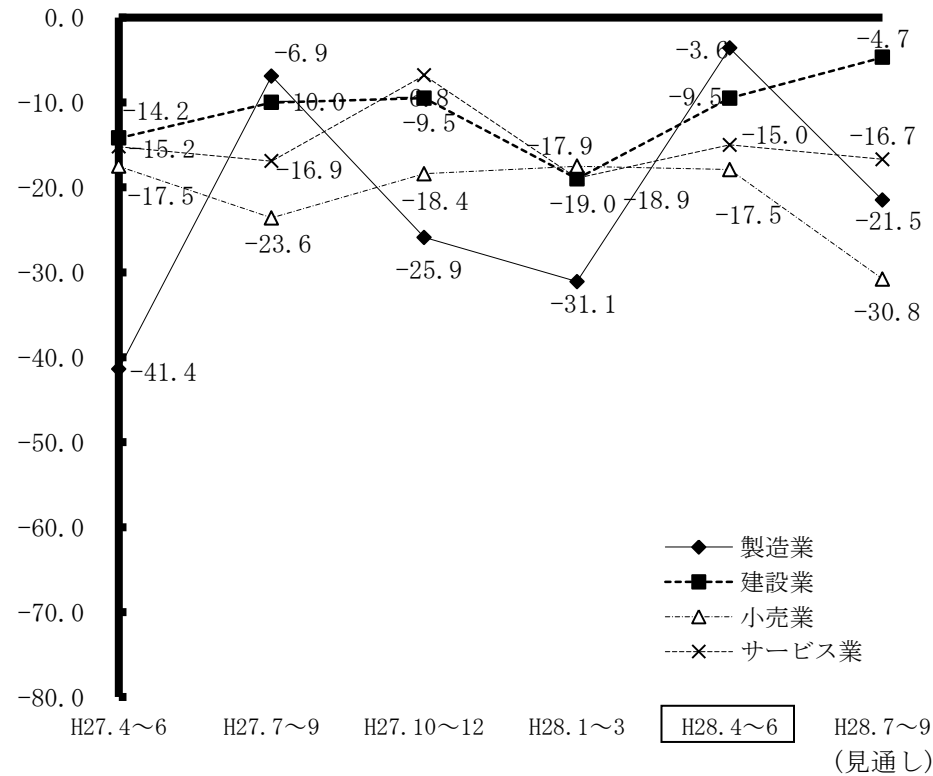
資金繰り

製造業、建設業、サービス業で資金繰りが改善

今期は、製造業において、27.5ポイントと、大幅に上昇して△3.6まで改善したほか建設業が9.5ポイント上昇の△9.5、サービス業が3.9ポイント上昇の△15.0まで改善しました。

小売業ではほぼ横ばいとなっています。

来期は、建設業が引き続き上昇の見通しですが、製造業、小売業においては大幅な悪化、サービス業においても小幅に悪化する見通しとなっています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

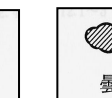
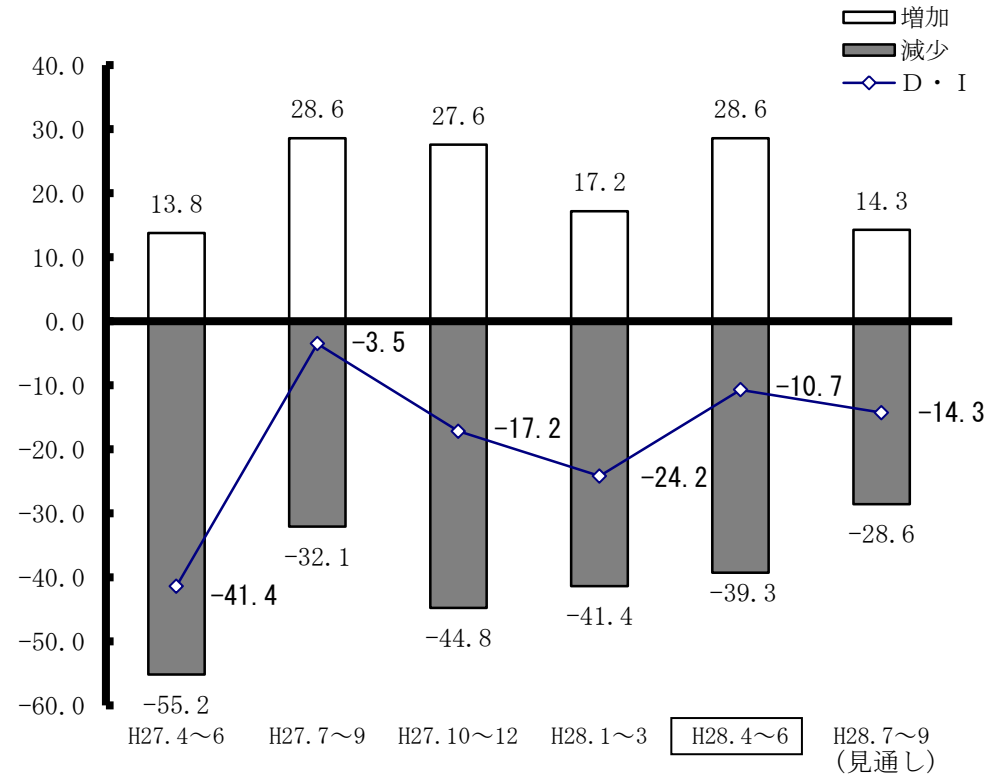


<来期見通し>



今期は、売上増加企業が増加し、売上減少企業が減少したことにより、売上高D・Iは大幅に増加し、△10.7まで回復しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業が再び減少するものの、売上の減少を予想する企業も減少しており、売上高D・Iは△14.3まで低下する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

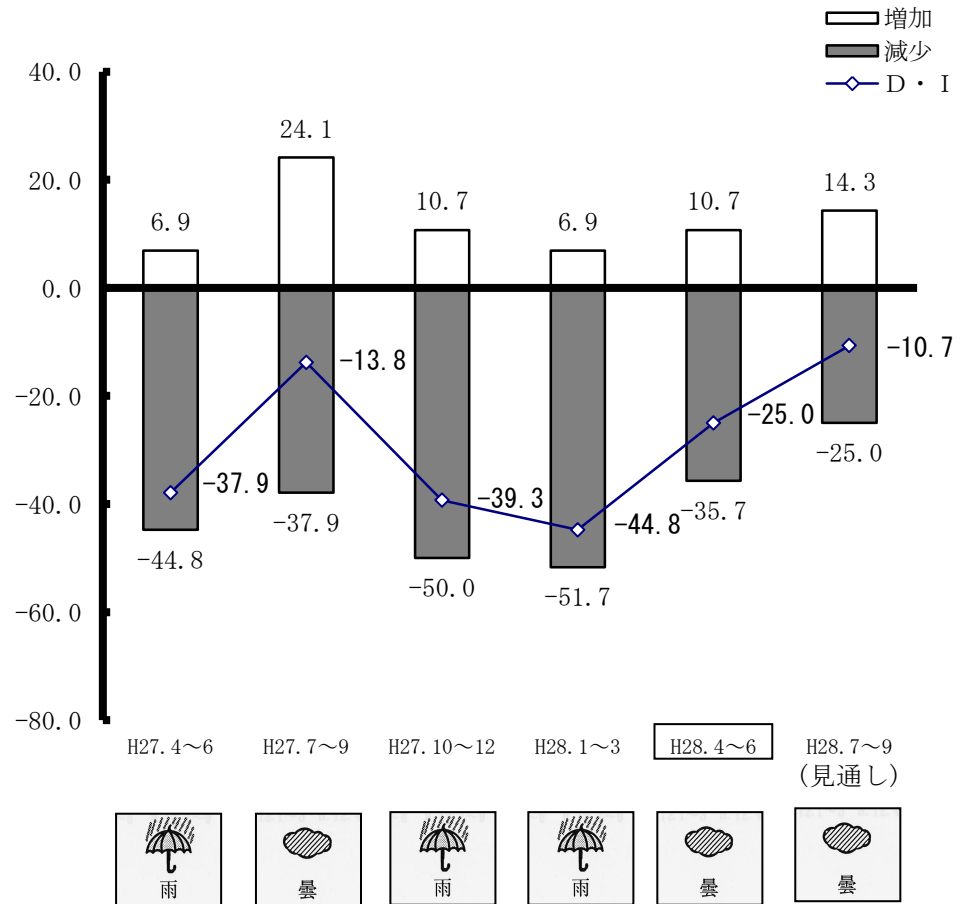


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が増加し、採算が悪化した企業の割合も減少したことから、採算D・Iは19.8ポイント上昇し、△25.0まで回復しました。景況天気図も雨から曇りへと変化しています。

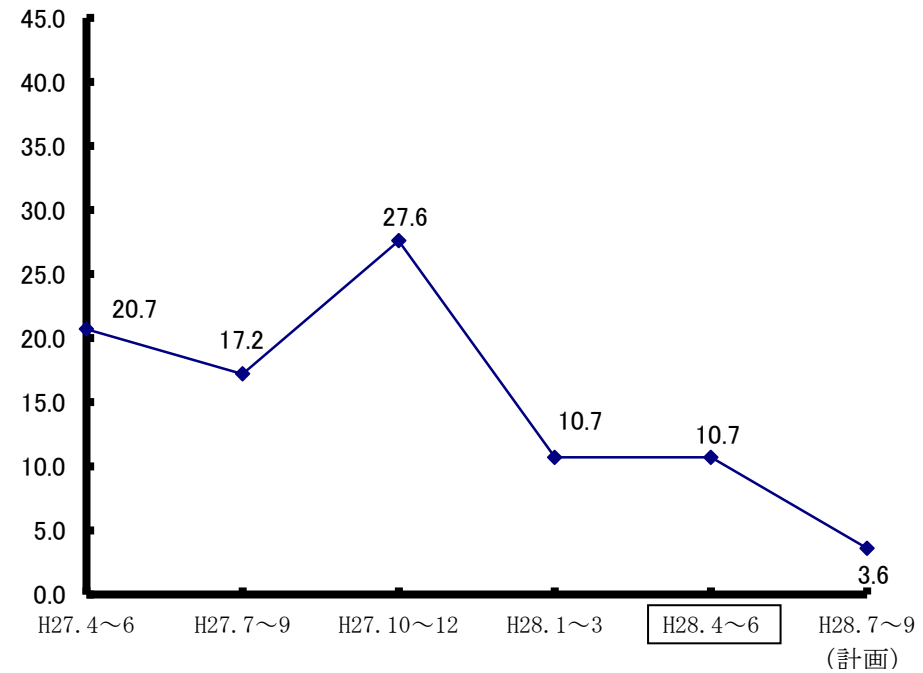
来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業の増加と採算の悪化を予想する企業の減少により、引き続き大幅に改善する見通しとなっています。



設備投資

今期、設備投資を行った企業の割合は、前期と同じ10.7でした。

来期は、設備投資は減少することが予想されます。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

経営上の問題点

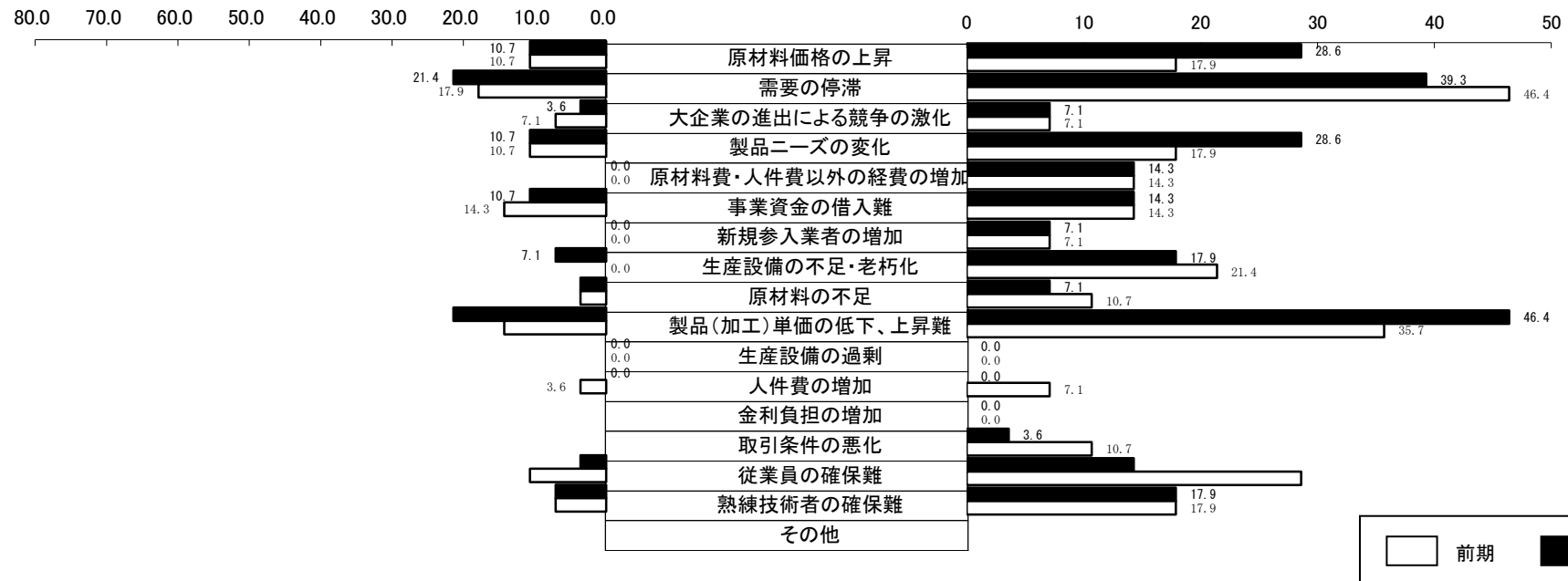
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



建設業の推移

売上高

<今 期>

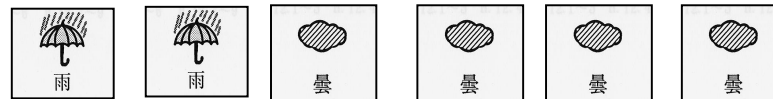
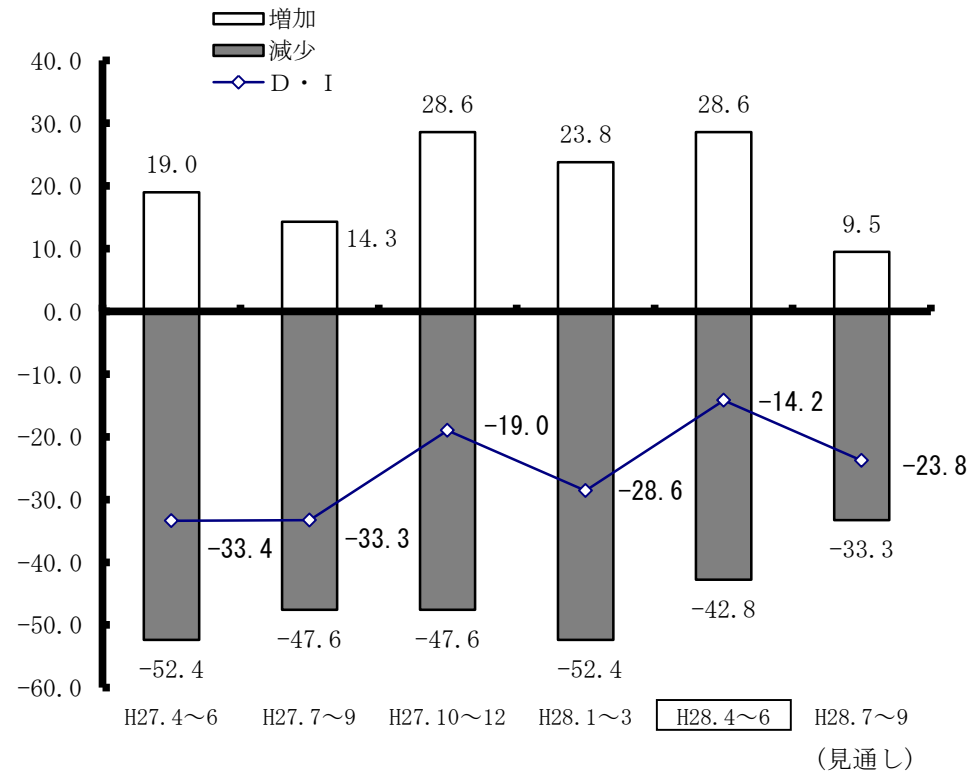


<来期見通し>



今期は、売上高の増加した企業の割合が増加し、また、売上高が減少した企業の割合も減少したことから、売上高D・Iは14.4ポイント上昇の△14.2となりました。

来期は、売上高の増加を予想する企業が大幅に減少する結果、△23.8まで、悪化する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

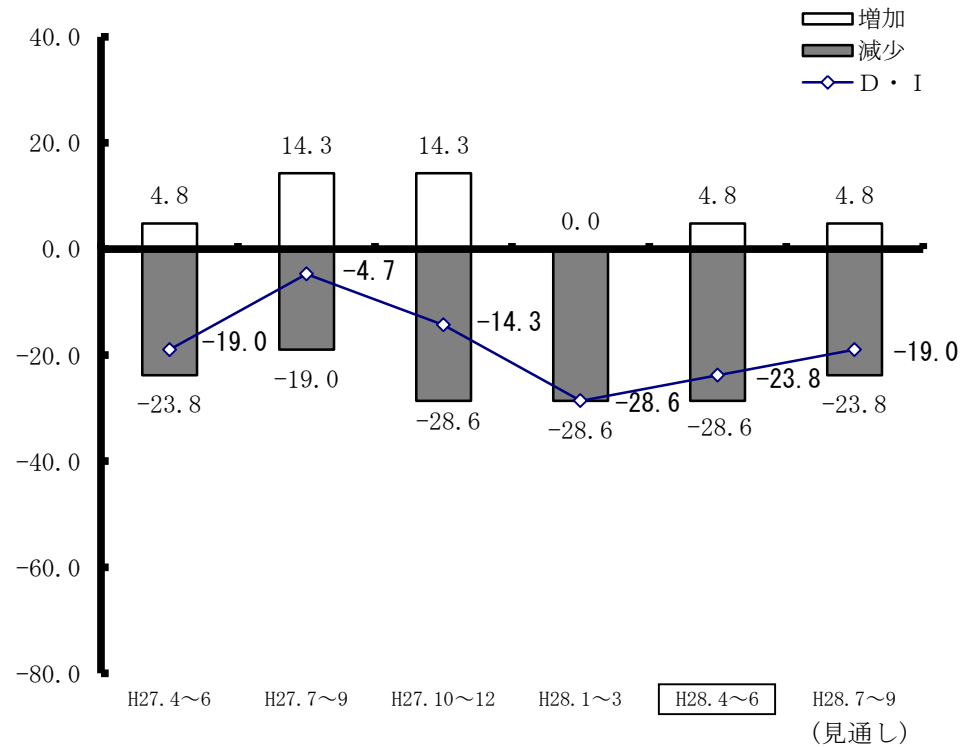


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算が悪化した企業が引き続き増加したものの、採算の好転を挙げた企業が4.8あったため、採算D・Iは4.8ポイント上昇の△23.8まで回復しました。

来期は、採算の悪化を予想する企業が減少することから、採算D・Iは、△19.0まで回復する見通しです。



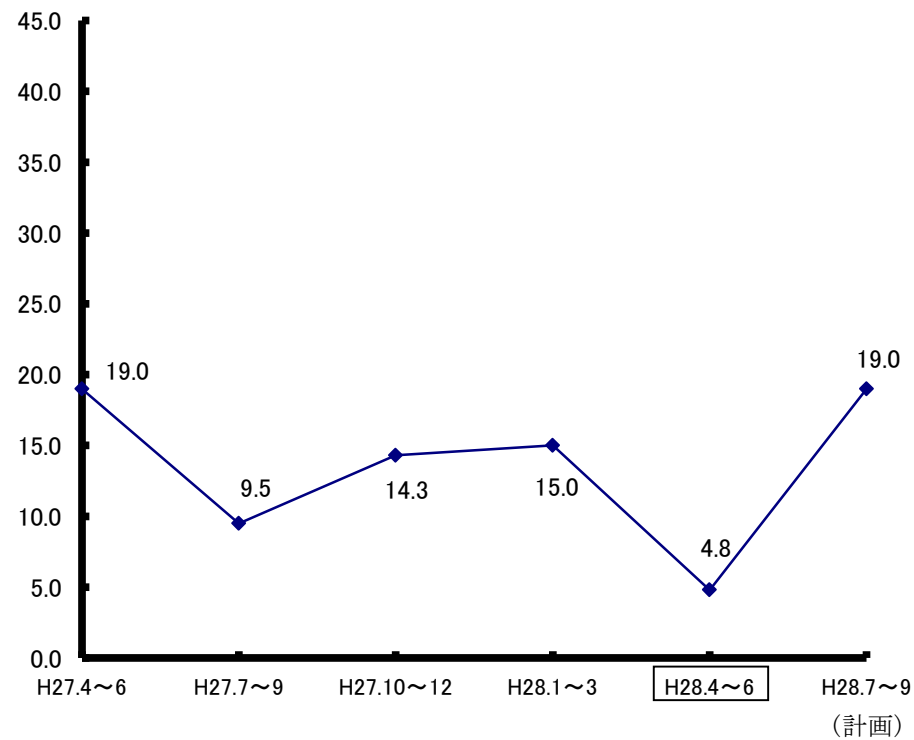
建設業の推移

設備投資

建設業において設備投資を実施した企業の割合は、2期連続して増加しておりましたが、今期は大幅に減少しました。

来期は、設備投資を予定する企業が大幅に増加し、19.0まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

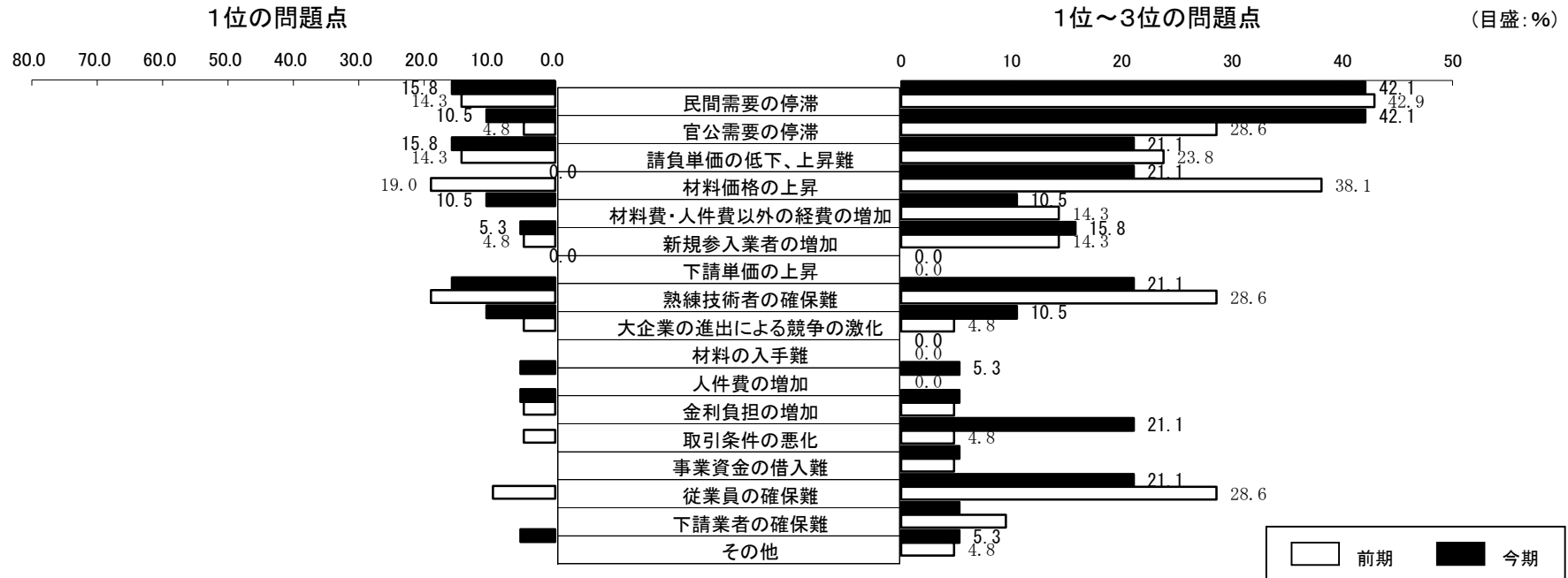


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>



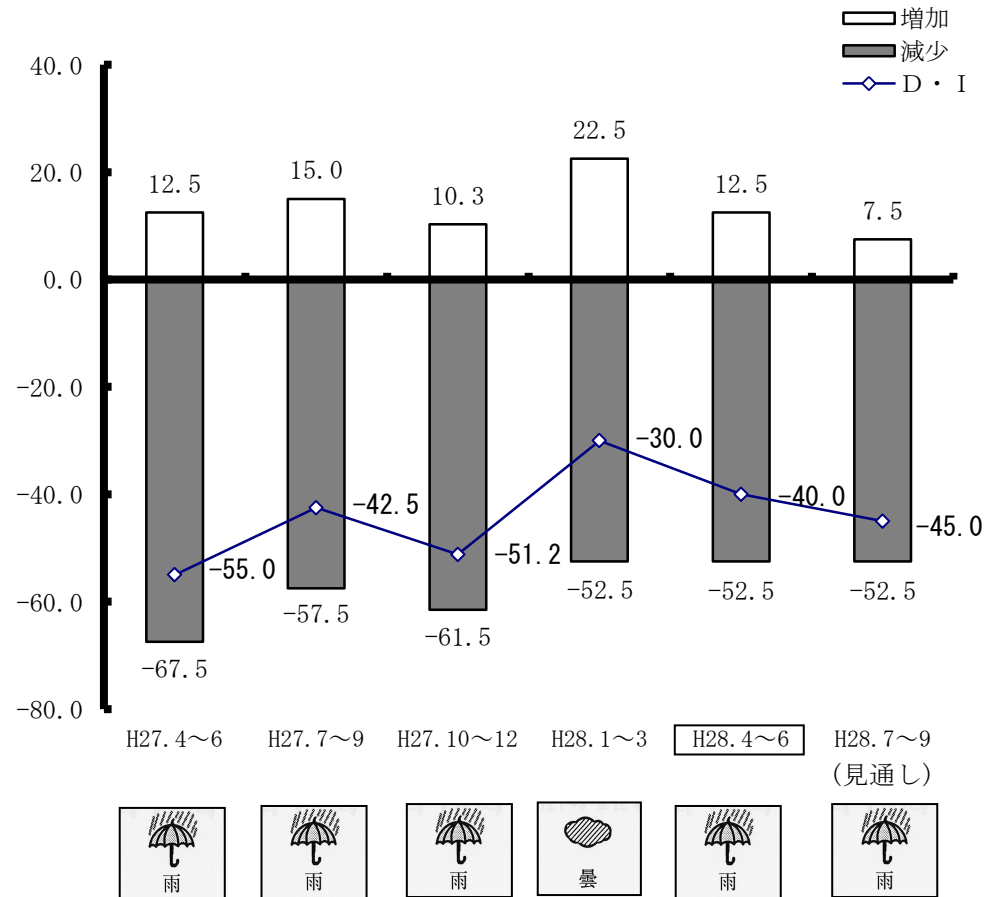
<来期見通し>



今期は売上高増加企業が減少し、また、売上高減少企業が横ばいだったため、売上高D・Iは10.0ポイント低下して、△40.0となりました。

景況天気図も曇りから再び雨に変化しています。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少し、売上高減少を予想する企業が横ばいであることから、売上高D・Iは、5.0ポイント低下した△45.0まで悪化する見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>



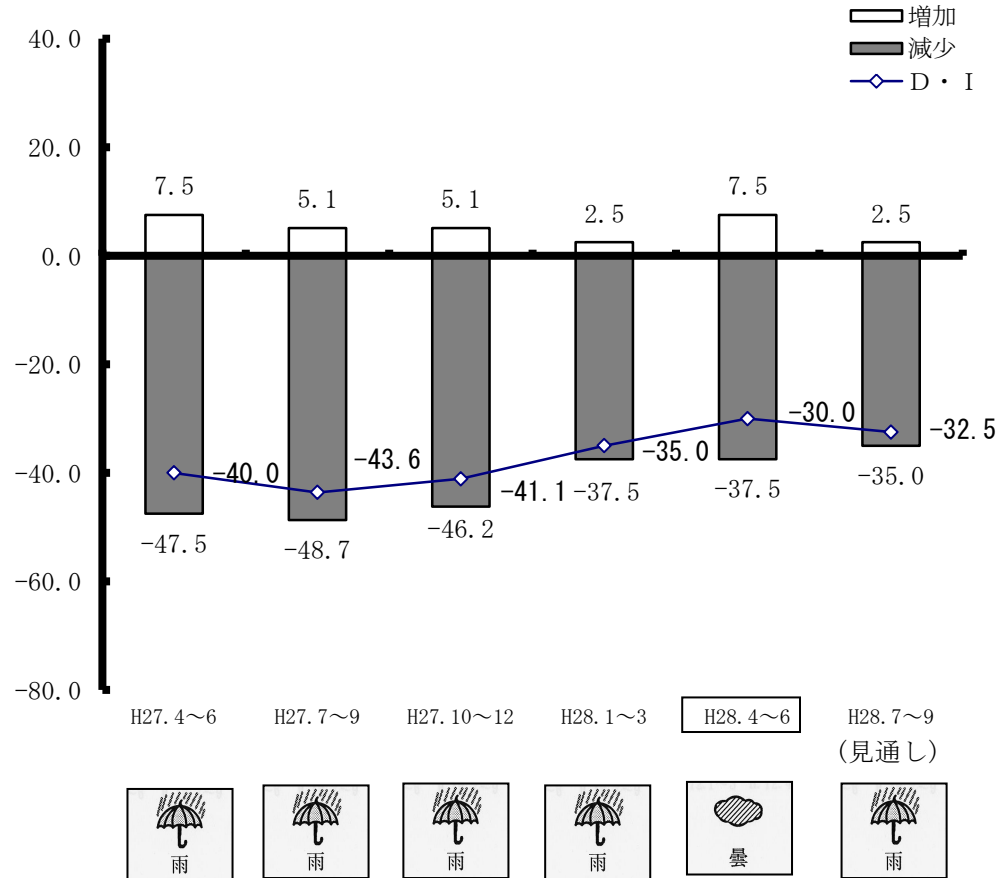
<来期見通し>



今期は、採算が悪化した企業が増加したものの、採算が好転した企業が増加したことにより、採算D・Iは5.0ポイント上昇し、△30.0まで回復しました。

景況天気図も雨から曇りへと変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業が減少し、採算D・Iは小幅に悪化する見通しです。

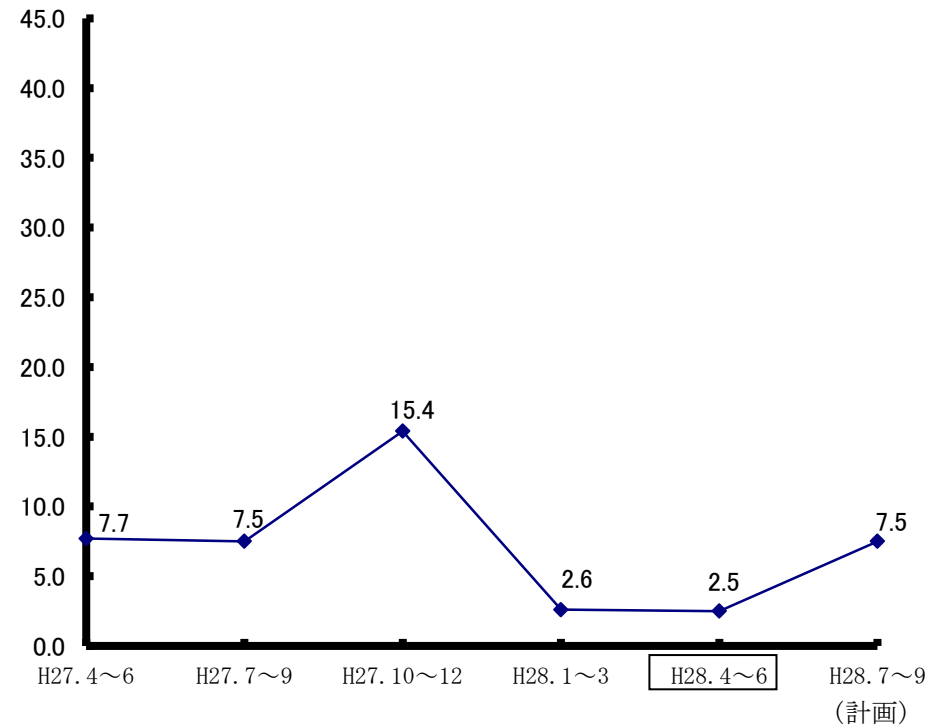


設備投資

今期、小売業において設備投資を実施した企業は、ほぼ前期と同じ割合の、2.5の低水準にとどまりました。

来期は、設備投資を計画している企業が増加に転じ、7.5まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

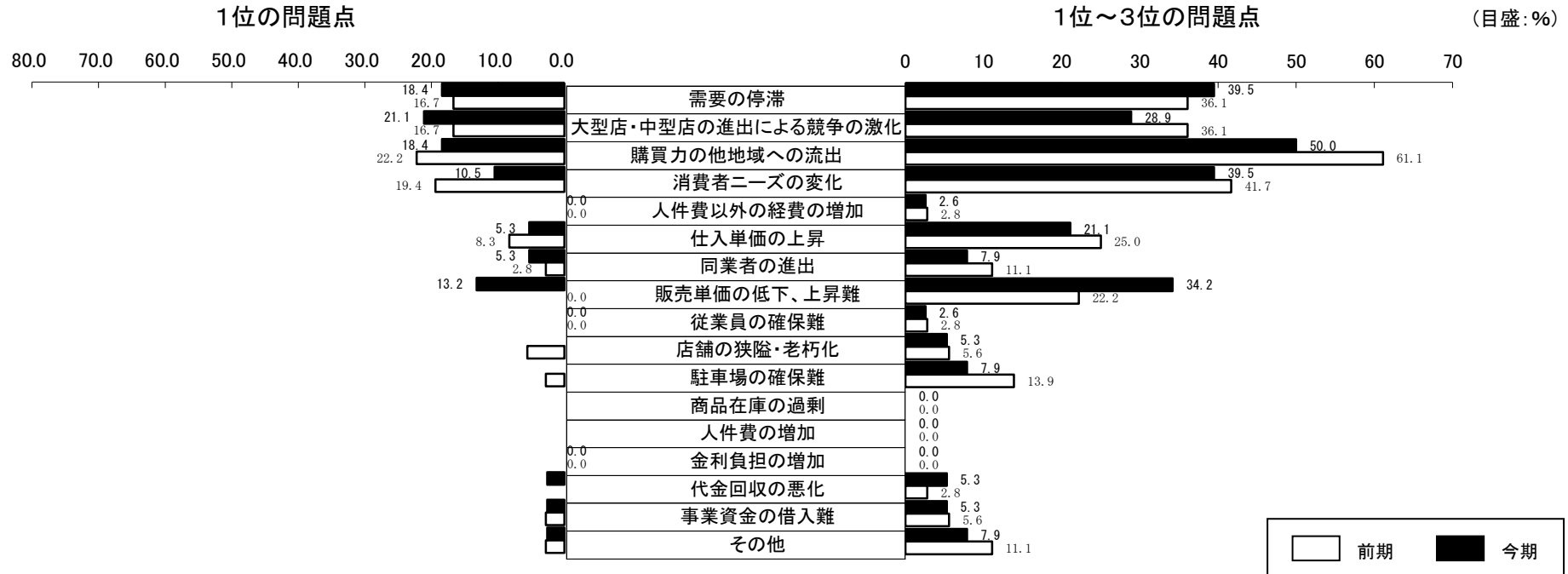


小売業の推移

経営上の問題点

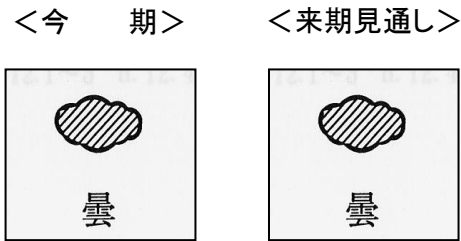
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



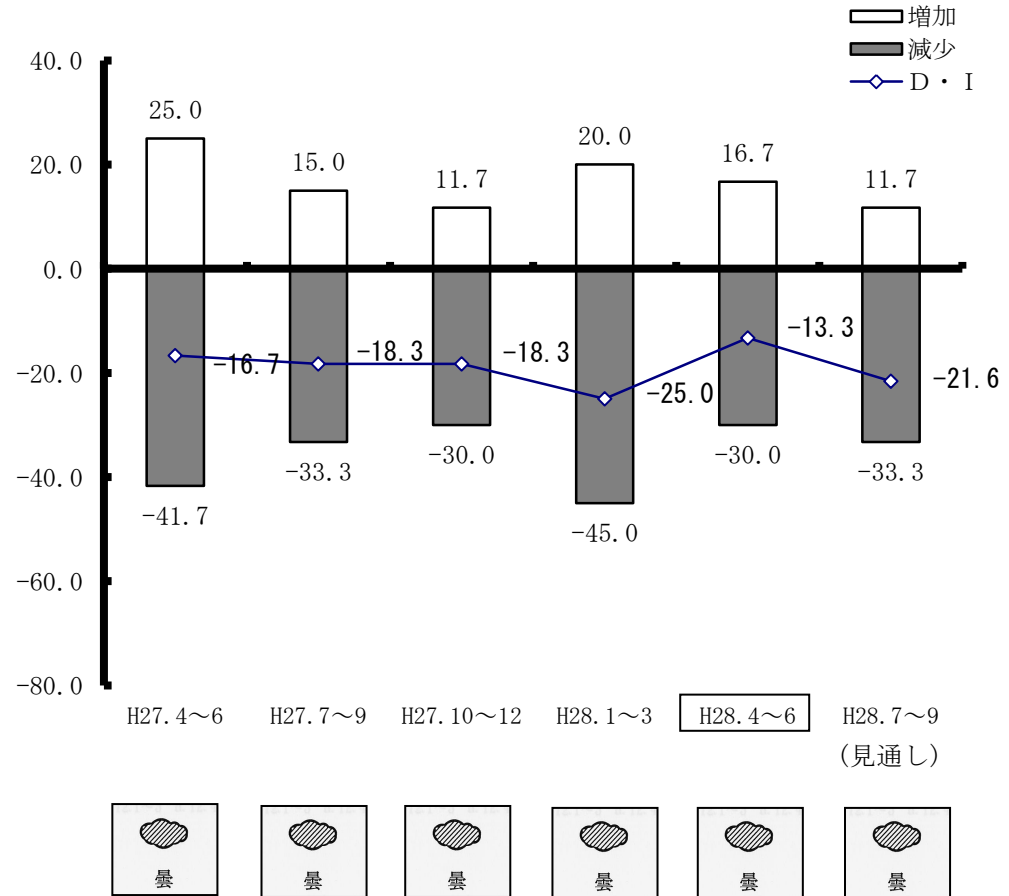
サービス業の推移

売上高



今期は、売上高増加企業は減少したものの、売上高増減少企業が大幅に減少したため、売上高D・Iは、11.7ポイント上昇し、△13.3まで改善しています。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少し、また、売上高減少を予想する企業も増加することから、売上高D・Iは△21.6まで悪化する見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>



雨

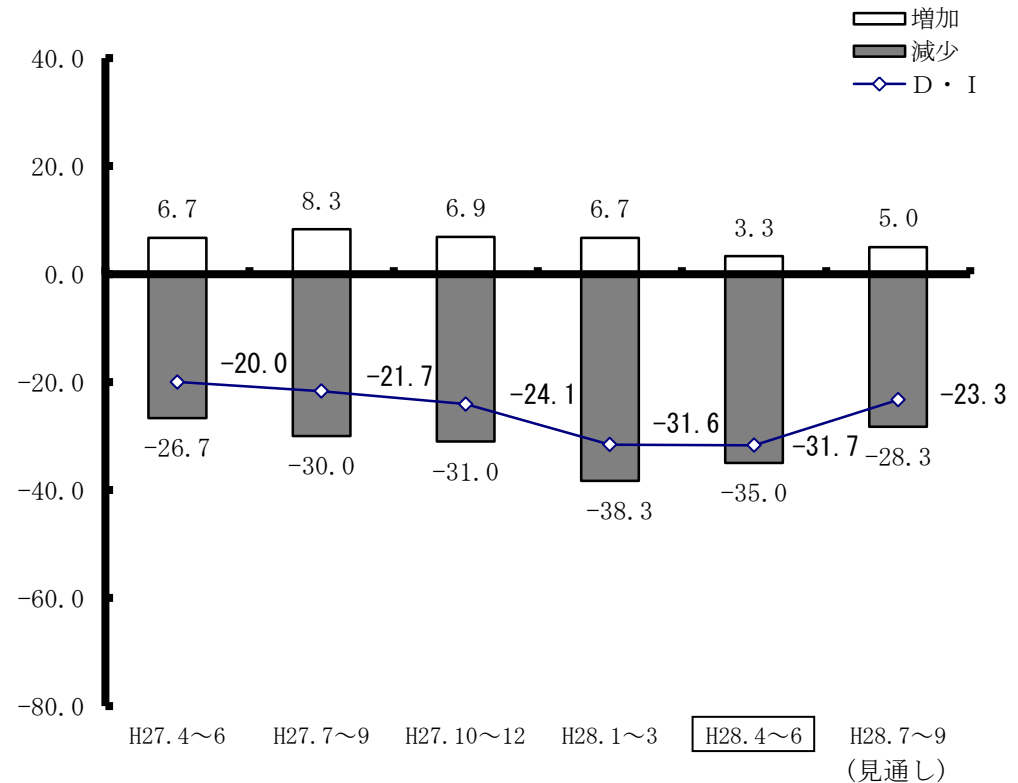
<来期見通し>



曇

今期は、採算が改善した企業が減少したものの、採算が悪化した企業が減少したことから、採算D・Iは、ほぼ前期と横ばいの $\Delta 31.7$ となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業の増加と悪化を予想する企業の減少により、採算D・Iは $\Delta 23.3$ まで改善する見通しです。



曇



曇



曇



雨



雨



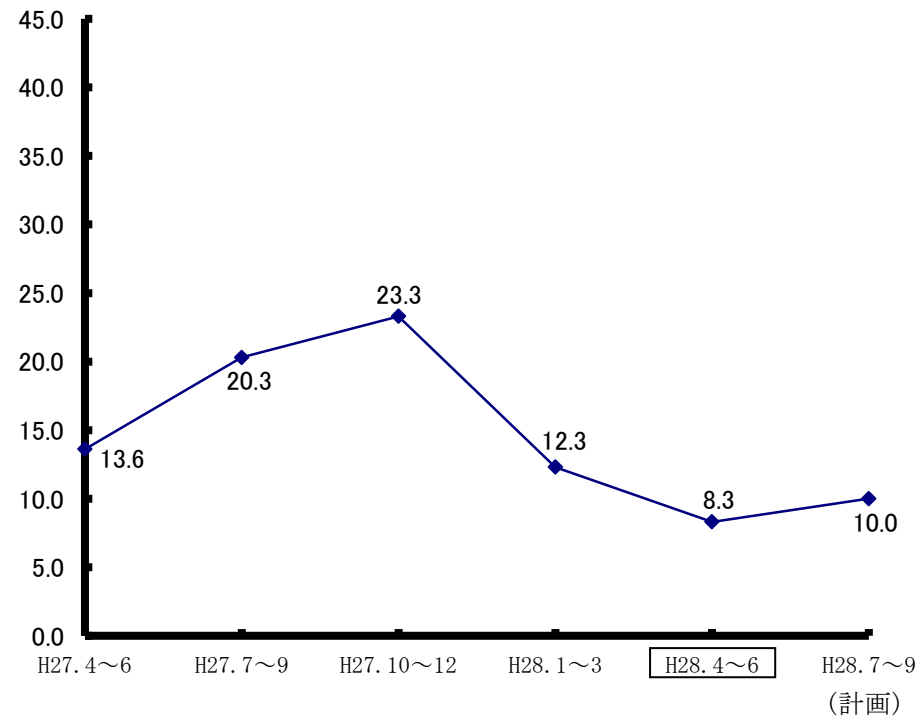
曇

設備投資

今期、サービス業において設備投資を実施した企業は4.0ポイント減少の8.3となり、2期連続の減少となりました。

来期は、設備投資を計画する企業が増加することが込まれ、10.0まで上昇の見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

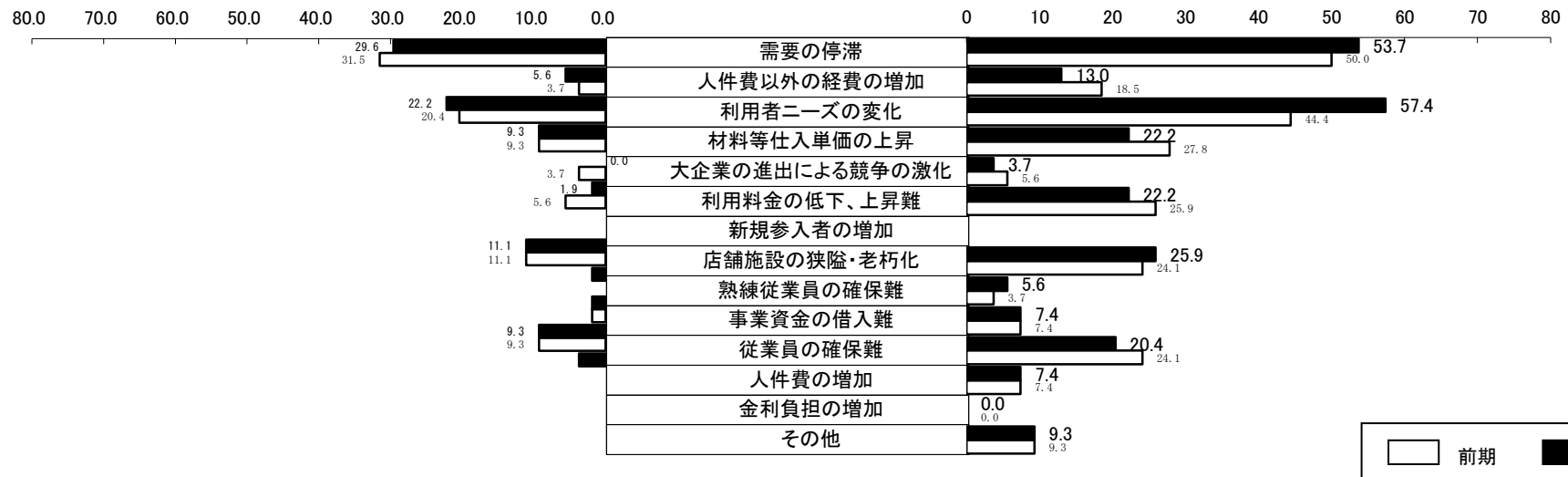
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

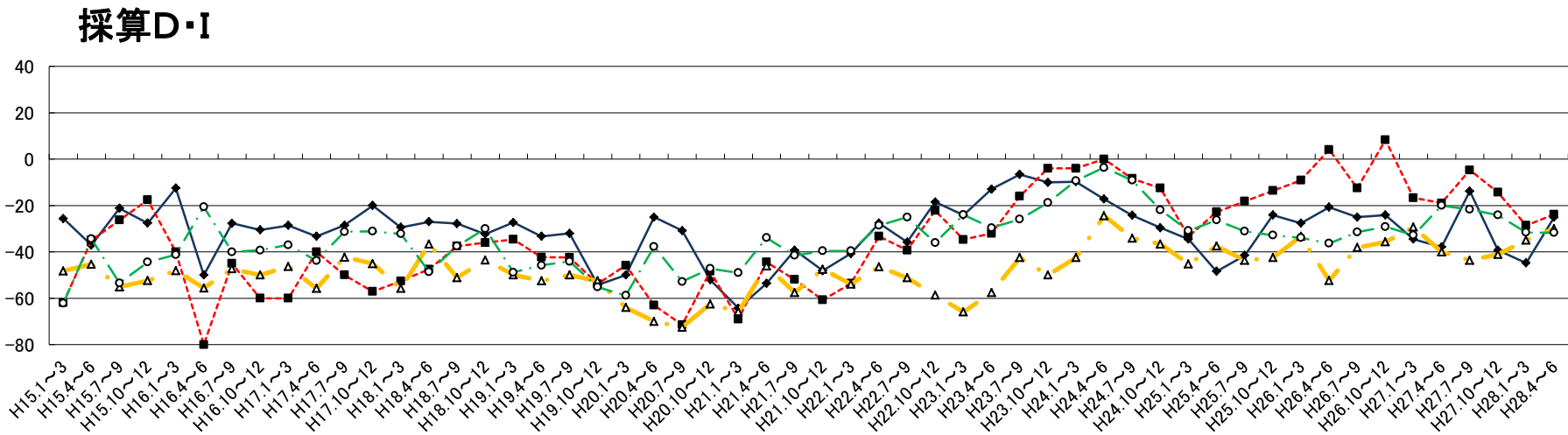
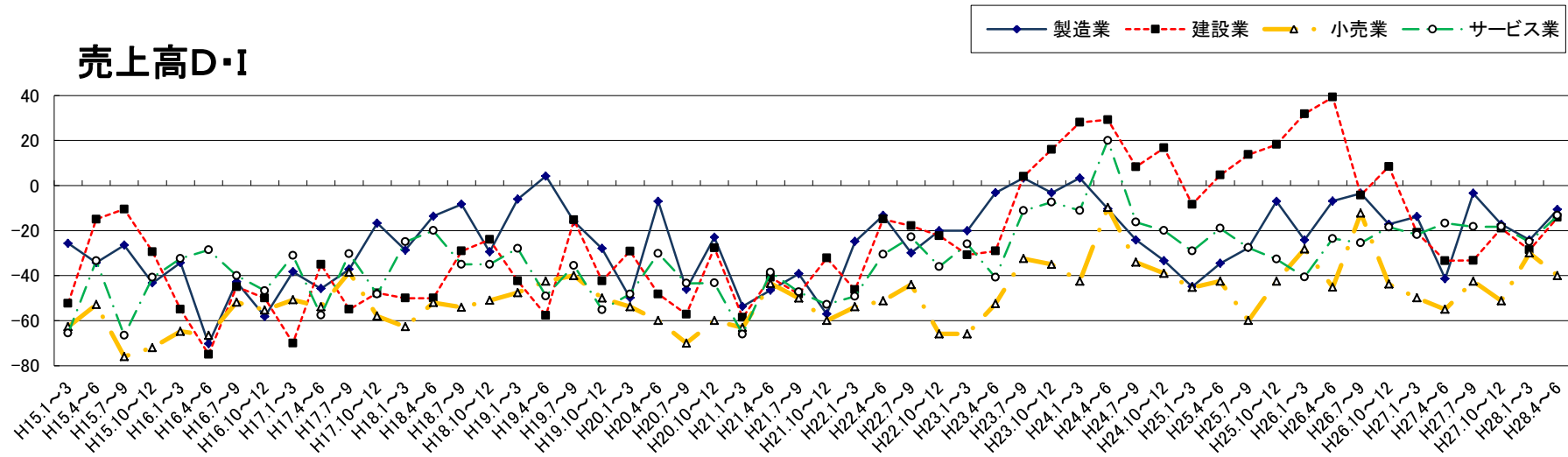
1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、岩泉、軽米町、野田村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成28年4月～6月を対象とし、調査時点は平成28年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	28 (18.8)	96.6
建設業		21 (14.0)	21 (14.1)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.8)	100.0
サービス業		60 (40.0)	60 (40.3)	100.0
		150 (100.0)	149 (100.0)	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。